

# 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)



2021年1月28日

上場会社名 菊水電子工業株式会社  
 コード番号 6912 URL <http://www.kikusui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 齋藤 士郎  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月4日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 045-482-6912

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	5,492	13.3	41	84.0	80	72.2	70	69.8
2020年3月期第3四半期	6,335	2.6	259	24.4	288	18.6	234	13.4

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 272百万円 (12.1%) 2020年3月期第3四半期 242百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	8.56	
2020年3月期第3四半期	28.43	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,292	9,612	85.1
2020年3月期	11,655	9,505	81.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 9,612百万円 2020年3月期 9,505百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		23.00	23.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	17.3	100	84.7	130	80.3	90	81.8	10.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	9,900,000 株	2020年3月期	9,900,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,590,493 株	2020年3月期	1,625,153 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	8,295,643 株	2020年3月期3Q	8,262,999 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示) .....	8
(追加情報) .....	8
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の急激な停滞を背景に、企業収益や外出自粛等による個人消費が大幅に減少し、企業の生産や設備投資が抑制されるなど、景気の悪化が急速に進みました。その後、感染拡大防止策を講じつつ、社会経済活動レベルの引き上げと共に、一部で景気持ち直しの動きも見られましたが、第3波といわれる感染再拡大により、依然として予断を許さない状況が続いております。

また、海外経済においても景気が急減速し極めて厳しい状況となり、経済活動の制限緩和や経済対策等により景気持ち直しの動きはあるものの、一部の地域においては、再び経済活動の制限強化がなされるなど、先行きは不透明感が強いまま推移しております。

一方、当社グループが属する電気計測器業界においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、世界的に需要が減少したことによる影響を受け、厳しい状況にありました。

このような状況の中、当社グループは、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開するため、感染拡大防止に対応したオンライン商談等を進めてまいりましたが、取引先の設備投資の凍結、先送り等により大変厳しいものとなりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、54億9千2百万円(前年同期比13.3%減)となりました。

損益面におきましては、原価低減と経費節減に努力を重ねてまいりましたが、売上高の減収に伴う売上総利益の減少の影響が大きく、営業活動が制限されたことにより出張費等の販売費及び一般管理費が減少したものの、営業利益4千1百万円(前年同期比84.0%減)、経常利益8千万円(前年同期比72.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益7千万円(前年同期比69.8%減)となりました。

当社グループは、電気計測器等の製造、販売を行っているものであり、セグメントは単一であります。したがって、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりません。

なお、当社グループにおける営業品目の製品群別売上の概況は、次のとおりであります。

## 《電子計測器群》

電子計測器群では、航空機用電子機器の測定器は低調に推移いたしました。また、安全関連試験機器は、耐電圧・絶縁抵抗試験用として電池関連市場に動きがありましたが、経済活動の停滞により需要が減少し、全般的に低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は11億8千1百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

## 《電源機器群》

電源機器群では、直流電源は、宇宙産業市場、半導体関連市場及び5G(第5世代移動通信システム)関連の需要増加等によるICT関連市場への評価試験や装置駆動用電源として動きがありました。交流電源は、車載関連市場、ICT関連市場及び冷凍空調市場への評価試験や製造設備用として動きがありました。電子負荷装置は、車載関連市場及び電子部品市場への評価試験用として動きがありましたが、製造業の設備投資等の抑制の影響等により、低調に推移いたしました。これら電源機器群は、一部の市場向けに動きがありましたが、経済活動の停滞により需要が減少し、全般的に低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は40億6千9百万円(前年同期比13.1%減)となりました。

## 《サービス・部品等》

サービス・部品等につきましては、特記すべき事項はありません。

当該サービス・部品等の売上高は、2億4千1百万円(前年同期比1.3%減)となりました。

上記に含まれる海外市場の売上の概況は以下のとおりであります。

## 《海外市場》

米国では、宇宙産業市場への直流電源が好調に推移いたしました。

欧州では、経済活動の停滞の影響により低調に推移いたしました。

アジアにおいては、中国では米中貿易摩擦等の影響があったものの、電池関連市場への安全関連試験機器、半導体関連市場及び5G関連の需要増加等によるICT関連市場への直流電源や交流電源が好調に推移いたしました。一方、韓国及び東南アジアにおいては経済活動の停滞の影響により低調に推移いたしました。

以上の結果、海外売上高は19億6千9百万円(前年同期比13.0%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における総資産は、商品及び製品、原材料及び貯蔵品等のたな卸資産の増加並びに投資有価証券の期末時価の上昇等により増加したものの、売上高の減収や売上債権の回収等による受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ3億6千3百万円減少し、112億9千2百万円となりました。

負債は、投資有価証券の期末時価の上昇により繰延税金負債が増加したものの、未払法人税等の納税並びに賞与及び役員賞与の支給等による賞与引当金及び役員賞与引当金の減少等により、前連結会計年度末に比べ4億7千万円減少し、16億7千9百万円となりました。

純資産は、配当の実施による剰余金の減少等により減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上及び投資有価証券の期末時価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加並びに自己株式の処分による増加等により、前連結会計年度末に比べ1億6百万円増加し、96億1千2百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2020年10月29日に「業績予想及び配当予想に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,534,551	2,346,690
受取手形及び売掛金	2,383,555	1,481,024
電子記録債権	309,250	331,572
商品及び製品	580,668	775,433
仕掛品	424,456	537,941
原材料及び貯蔵品	636,600	757,839
その他	76,660	83,856
流動資産合計	6,945,743	6,314,357
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	651,626	609,202
土地	1,454,495	1,454,495
その他(純額)	461,860	428,035
有形固定資産合計	2,567,982	2,491,733
無形固定資産	136,617	126,099
投資その他の資産		
投資有価証券	1,155,175	1,485,934
その他	852,246	876,159
貸倒引当金	△2,015	△2,015
投資その他の資産合計	2,005,405	2,360,078
固定資産合計	4,710,005	4,977,911
資産合計	11,655,749	11,292,269
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	615,523	534,697
未払法人税等	192,519	38,153
賞与引当金	179,278	114,250
役員賞与引当金	34,000	—
製品保証引当金	8,760	7,776
その他	534,005	338,438
流動負債合計	1,564,087	1,033,317
固定負債		
役員退職慰労引当金	140	414
退職給付に係る負債	218,146	210,512
その他	367,680	435,411
固定負債合計	585,967	646,338
負債合計	2,150,055	1,679,655

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201,250	2,201,250
資本剰余金	2,760,151	2,768,158
利益剰余金	5,074,527	4,955,180
自己株式	△806,243	△789,051
株主資本合計	9,229,685	9,135,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	304,771	489,555
為替換算調整勘定	2,806	11,379
退職給付に係る調整累計額	△31,569	△23,857
その他の包括利益累計額合計	276,008	477,077
純資産合計	9,505,694	9,612,613
負債純資産合計	11,655,749	11,292,269

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	6,335,685	5,492,120
売上原価	3,062,858	2,684,626
売上総利益	3,272,826	2,807,493
販売費及び一般管理費	3,013,603	2,765,956
営業利益	259,223	41,537
営業外収益		
受取利息	2,291	2,163
受取配当金	44,446	46,558
その他	16,212	18,687
営業外収益合計	62,951	67,409
営業外費用		
支払利息	1,999	1,928
売上割引	11,258	11,249
為替差損	17,250	12,959
その他	2,779	2,528
営業外費用合計	33,287	28,665
経常利益	288,886	80,282
特別利益		
投資有価証券売却益	38,549	—
特別利益合計	38,549	—
税金等調整前四半期純利益	327,436	80,282
法人税等	92,482	9,307
四半期純利益	234,954	70,974
親会社株主に帰属する四半期純利益	234,954	70,974

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
四半期純利益	234,954	70,974
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26,759	184,784
為替換算調整勘定	△16,370	8,572
退職給付に係る調整額	△2,762	7,712
その他の包括利益合計	7,626	201,069
四半期包括利益	242,580	272,043
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	242,580	272,043
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染症の世界規模での拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与えている事象であり、当感染症の収束時期やその影響の程度を合理的に予測することは現時点では困難なことから、当社グループでは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、翌連結会計年度の上半期中は当該影響が継続し、その後緩やかに回復するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等にかかる会計上の見積りを行っており、前連結会計年度末の仮定について、重要な変更は行っておりません。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期化するなど、上記仮定に変化が生じた場合には、将来の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。